全国町村会
100周年記念式典

── 感謝状被贈呈者プロフィール ──

全国町村会

感謝状被贈呈者プロフィール

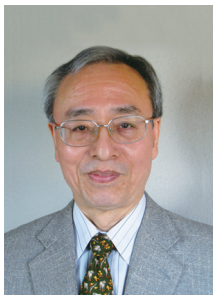
第20代全国町村会長

藤原 忠彦 氏

（ふじはら ただひこ）

Tadahiko Fujihara

1938年、長野県南佐久郡川上村生まれ。長野県立臼田高等学校中退。農業に従事した後、川上村役場職員に。企画課長を経て、1988年から川上村長を8期務める。2005年から長野県町村会長・全国町村会理事、2010年からは4期にわたり全国町村会長を務め、都道府県会長はじめ全国町村長とともに全国町村会の会務運営及び全国町村の振興発展に尽力。川上村長として、日本一のレタス王国をはじめ高冷地や千曲川源流の特性を活かした村づくりを展開。全国に先駆けた全村CATVなど農業情報ネットワークシステムの構築や村営バス「川上方式」（スクールバスの活用）、ヘルシーパーク構想、24時間開館の図書館、地元からまつ材活用の中学校整備、山村・都市交流などに取り組む。2021年4月旭日重光章受章。
著書に『平均年収2500万円の農村－いかに寒村が豊かに生まれ変わったか－』（ソリックブックス刊）。



東京大学名誉教授

大森　彌 氏

（おおもり わたる）

Wataru Omori

1940年、旧東京市生まれ。東京大学大学院博士課程修了。法学博士。東京大学教授、東京大学大学院総合文化研究科長・教養学部長、千葉大学教授、放送大学大学院客員教授などを歴任。東京大学名誉教授。専門は行政学・地方自治論。
地方分権推進委員会専門委員・くらしづくり部会長、日本行政学会理事長、社会保障審議会会長・同介護給付費分科会会長、地域活性化センター「全国地域リーダー養成塾」塾長、NPO地域ケア政策ネットワーク代表理事などを歴任。現在、全国町村会「町村に関する研究会」座長、厚生労働省成年後見制度利用推進専門家会議委員長など。
著書に『町村自治を護って』（2016年、ぎょうせい）『自治体の長とそれを支える人びと』（2016年、第一法規）、『自治体職員再論』（2015年、ぎょうせい）など。

東京大学名誉教授

神野 直彦 氏

（じんの なおひこ）

Naohiko Jinno

1946年、埼玉県生まれ。東京大学経済学部卒業。同大学院博士課程単位取得退学。大阪市立大学助教授、東京大学経済学部助教授、東京大学・大学院教授、同大学院経済学研究科長・経済学部長、関西学院大学・大学院教授、日本社会事業大学学長などを歴任。東京大学名誉教授。紫綬褒章受賞。地方分権改革推進会議委員、地方分権改革有識者会議座長、地方財政審議会会長、社会保障審議会年金部会部会長、税制調査会会長代理などを歴任。著書に『経済学は悲しみを分かち合うために-私の原点-』（2018年、岩波書店）、『地域再生の経済学』（2002年、中央公論新社・2003年度石橋湛山賞受賞）、『財政学』（2002年、有斐閣・2003年度租税資料館賞受賞）、『システム改革の政治経済学』（1998年、岩波書店・1999年度エコノミスト賞受賞）など。

福島大学食農学類長
東京大学名誉教授

生源寺 眞一 氏

（しょうげんじ しんいち）

Shinichi Shogenji

1951年、愛知県生まれ。東京大学農学部卒業。農林水産省農事試験場研究員、北海道農業試験場研究員を経て、1987年東京大学農学部助教授、1996年同教授、2011年名古屋大学農学部教授。2017年福島大学に着任し、2019年4月からは食農学類長。東京大学名誉教授。これまでに東京大学農学部長、日本農業経済学会会長、食料・農業・農村政策審議会会長などを務める。現在、全国町村会が主催する地域農政未来塾塾長のほか、NPO中山間地域フォーラム会長、全国大学生活協同組合連合会会長理事など。
著書に『新版・農業がわかると、社会のしくみが見えてくる』（2018年、家の光協会）、『「いただきます」を考える』（2019年、少年写真新聞社）、「農業と人間」（2013年、岩波書店）など。